

忠見校区

地域振興計画

将来 住みよく 活力ある

忠見校区をめざして



八女中央大茶園

平成29年3月

忠見校区まちづくり協議会

忠見校区地域振興計画策定委員会

目 次

第1章	はじめに	P 1
	1. 計画策定の趣旨	
第2章	忠見校区の概況	P 2
	1. 位置・地勢	
	2. 人口等の動向	
第3章	テーマ別の現状と課題等のまとめ	P 3～5
	1. 安全・安心の確保（交通安全・防災対策・防犯対策）	
	2. 高齢者支援・健康づくり・地域福祉対策	
	3. 子育て支援・教育環境対策	
	4. 産業の振興（農業・伝統産業）・自然環境対策	
	5. 歴史、文化活動・地域コミュニティ対策	
第4章	私たちがめざす将来の姿	P 6
	1. 基本理念	
	2. 基本目標	
第5章	忠見校区地域振興計画実施計画	P 7～10
	1. 安全・安心で暮らせる快適なまちづくり	
	2. 老若男女ふれあいを大切に育むまちづくり	
	3. 地域が元気で生き生きするまちづくり	
	4. 自然を身近に感じ、環境にやさしいまちづくり	
	5. 歴史と伝統を大切に、新しい文化のまちづくり	
付属資料		P 11～31
	1. 地域振興計画策定アンケート調査結果	
	（1）アンケート集計 総括表	
	（2）アンケート集計 年代別集計表	
	（3）アンケート意見・提案集	
	2. 忠見校区地域振興計画策定委員名簿	

1. 計画策定の趣旨

私たちが住む忠見校区は、北には、なだらかな八女丘陵地帯、南に、清い河川・用水の星野川や山の井川などが流れ、地域全体が肥沃で豊かな自然環境に恵まれています。

県道442号線も東西に貫通しており、交通の便も良く、八女の特産物の八女茶を栽培する八女中央大茶園や電照菊等を栽培するビニルハウスなども多くあり施設園芸の農業も盛んな地域です。また、校区内に高齢者福祉施設やしょうがい者福祉施設、学童保育施設、保育園などもあり、福祉施設等にも恵まれた地域となっております。

近年は、忠見校区も、時代の波として少子高齢化が進み、校区を取り巻く環境や住民の要望や価値観・考え方などが、大きく変わっております。高齢者支援や子育て支援などは、個人や家族だけでは、とうてい乗り切れない課題も多く、人と人とのつながりも希薄になって来ています。それに伴い、地域の組織力、団結力も弱体化の傾向にあります。更には、温暖化等を原因とした異常気象による自然災害や地震なども多々発生するようになり、お互いに助け合う、共助の精神が重要視されています。

現在、忠見校区まちづくり協議会では、いろいろな事業を校区行事として展開し、「お互いに出会い・ふれあいを大切に」「元気な・住みよい校区づくり」をモットーに、若者やお年寄りが夢と希望を描けるような地域づくりを目指して活動しております。この様な中、忠見校区まちづくり協議会では、平成27年度から将来を見すえた「地域振興計画の策定作業」に着手しました。その後、平成28年度に構成団体のほか忠見小学校・忠見駐在所・地元の市議会議員に参加していただき忠見校区地域振興計画策定委員会を発足しました。

忠見校区地域振興計画の策定にあっては、忠見校区地域振興計画策定委員会の各構成団体等の活動の中から見えてくる地域の現状や課題の掘り起こしを行い、併せて住民アンケートを実施し地域の方々の意見集約を行いました。その上で、忠見校区地域振興計画では、将来のあるべき忠見校区の姿や理想・目標とする地域像をイメージし、それに向けた基本的な計画・施策を示した長期的な計画としたものです。

この「忠見校区地域振興計画」が、これから将来の忠見校区のまちづくりの指針の一助となることを願っています。

なお、この忠見校区地域振興計画の内容につきましては、見過ごして未着手の内容や修正が必要な内容などあるかと思いますが、今後も、忠見校区まちづくり協議会といたしましては、忠見校区の皆さんが、この策定の趣旨をご理解いただき、急速に変化する時代の潮流や校区状況の変化等に則した対応へのご協力や取り組みをしていただくことを期待します。

忠見校区まちづくり協議会
忠見校区地域振興計画策定委員会

地域振興計画策定に携わった構成団体等		
行政区長会	公民館長会兼副区長会	老人クラブ
民生委員・主任児童委員	青少年健全育成会	見崎中PTA
忠見小PTA	子ども会育成会	忠見小学校
交通安全協会	消防団	忠見駐在所

第2章

忠見校区の概況

1. 位置・地勢

忠見校区は旧八女市の北東部に位置し、地形は平坦地（住宅）と丘陵地（農地及び山林）で構成され、交通面では、国道442号線と旧矢部線道路（バルビゾン通り）が東西に、県道久留米～立花線が南北に貫通しており、広域交通の利便性が高い地域になっています。

八女の特産物の八女茶を栽培する八女中央大茶園や電照菊等を栽培するビニルハウスなども多くあり施設園芸の農業も盛んな地域です。また、校区内に高齢者福祉施設やしょうがい者福祉施設、学童保育施設、保育園などもあり、福祉施設等にも恵まれた地域となっております。

2. 人口等の動向

忠見校区の人口は、行政区間の差はあるものの、平成15年度をピークに減少傾向に転じている中、世帯数は増加傾向にあります。

◇忠見校区行政区毎の人口・世帯の推移

行政区名	平成10年度		平成15年度		平成20年度		平成25年度	
	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数
大籠	540	147	557	173	534	174	506	192
忠見南	549	138	577	152	558	165	535	185
忠見北	748	206	775	239	824	265	754	261
井延	425	115	432	119	460	142	454	144
黒土	227	53	202	52	181	49	179	55
立山	284	66	280	70	261	73	240	72
本	555	162	609	187	570	218	558	217
牟田	273	64	239	66	209	64	208	78
合計	3,601	951	3,671	1,058	3,597	1,150	3,435	1,204

※単位；人口…人・世帯数…戸

※人口・世帯数は、各年度の3月31日現在の住民基本台帳より

◇八女市人口等の推移

	男	女	合計	世帯数	備考
平成10年度	18,896	21,019	39,915	11,773	
平成15年度	18,604	20,695	39,299	12,308	
平成20年度	19,914	22,267	42,181	14,369	H18・10上陽合併
平成25年度	31,769	35,759	67,528	24,213	H22・2合併

※単位；男・女・合計…人・世帯数…戸

※男・女・合計・世帯数は、各年度の3月31日現在の住民基本台帳より

5つのテーマを掲げ、忠見校区の現状と課題等を整理しました。

テーマ1 《安全・安心の確保（交通安全・防災対策・防犯対策）》

◇交通安全

児童生徒が通学路として利用している道路について、交通安全面からと防犯面からの視点で、安全確保と歩きやすい道路の整備が求められています。併せて高齢者や子ども達の安全確保のため、信号機の設置や交差点のカラー化など交通安全施設等の整備の声もあります。また、交通安全教育に関する普及啓発もこれまで以上に必要となっています。

◇防災対策

自然が豊かで災害等も少なく住みやすいと感じている人は多いものの、平成24年7月の九州北部豪雨災害では八女市では甚大な被害を受け、被災地となったことから住民の防災意識は高まってきています。

こうしたことから九州北部豪雨災害の反省を踏まえ、避難訓練の積極的参加や方法、避難誘導及び避難場所の問題など、住民の避難時における安全確保と不安解消についての対策が求められています。また、人家密集地内で狭い道路が多く、緊急車両の進入が困難な狭い道路や防災上、特に必要な道路は拡幅・改良の整備が求められています。

一方、地域の安全安心は、地域の消防団によって支えられているところが多くありますが、雇用、産業、生活形態の変化と共に団員の確保が困難な状況です。これらの現状を踏まえて新たな仕組みづくりが必要と考えられます。

◇防犯対策

人口減少と高齢者世帯の増加、核家族の増加等によって、防犯面での不安を感じる人が多くなりました。

特に、子どもを持つ保護者からは不審者への対応や、高齢者に対しては悪質商法、二重電話詐欺などへの注意喚起など、情報提供や指導の強化と共に地域の防犯体制の強化が求められています。また、安全面及び治安上必要な街灯・防犯灯の設置が要望されています。

テーマ2 《高齢者支援・健康づくり・地域福祉対策》

地域の高齢化が進む中、健常者にとっては当たり前のことであっても、高齢者やしょうがいを持つ人にとっては、生活の不便や不安をはじめ地域行事にも出たくても参加できないなど、もどかしさや孤独感など様々な問題、悩みを抱えていることが伺えます。実際、アンケートからも高齢者の関心は健康づくりや買物の不便などの回答が多く、将来の忠見校区については、「高齢者やしょうがいを持つ人が安心して暮らせる福祉のまち」を望む声や、参加したい活動では「健康づくり活動」がそれぞれ一番多い回答となっています。

こうした中、他校区では既に健康づくり対策として卓球教室やラジオ体操を行っている地域もあり、健康増進を兼ねた交流の場として大きな意味があると思われます。そこで、このような優良事例を基に、世代を問わず地域の実情にあわせた健康づくりや居場所づくりの取り組みを全地域へ広める必要があります。その取り組みの1つとして九州オルレ八女コースを活用した新たな取り組みも考えられます。また、高齢者の生きがい対策として交流の場の充実や、高齢者の知恵や技術を生かす取り組みの活動と環境づくりが求められています。

一方、八女市社会福祉協議会がすすめる地域福祉活動（福祉部会設置）を「忠見校区まちづくり協議会」で具体的に取り組むことで、地域福祉の核となることが期待できると考えられます。

テーマ3 《子育て支援・教育環境対策》

少子化が進んではいますが、忠見小学校の児童数は200名を境に横ばいの状況が続いています。こうした中、子どもたちを安心して育てられるまちづくりを望む共通の意見は多く聞かれます。

子育て世代の中には、子どもたちが地域で安心してのびのびと遊べる場所がないとの指摘もあります。また、生活の不便さや地域行事などの風習・慣習に対する不満などの理由で、他地区へ転出したいという声もあります。

さらに、子ども会活動など保護者が全て段取りしていることにより、子ども達の自主性や協調性など本来この時期に身につけるべきものを奪っているのではとの懸念も聞かれます。

このように、ライフスタイルや価値観の変化、核家族化など社会環境が大きく様変わりする中、育児や子育てに関する保護者の心理的・身体的負担は多くの課題を抱えています。

こうしたことから、地域ぐるみの支え合い、助け合いの仕組みづくりや環境づくりが必要となっています。

テーマ4 《産業の振興（農業・伝統産業）・自然環境対策》

アンケートによる「大切にしたい忠見校区の良さ」では「豊かな自然」が一番多く、それを反映するように忠見校区は、八女の特産物の八女茶を栽培する八女中央大茶園や電照菊等を栽培するビニルハウスなども多くあり施設園芸の農業も盛んな地域です。しかし、取り巻く状況が厳しいことから後継者が減り農業従事者の高齢化が進んでいます。それと同時に山林、水田、畑等の耕作放棄地も多くなっています。

こうした中、農業については若い世代が安心して農業を営むことができる体制の整備と、農産物の地産地消だけでなく、加工による商品開発をはじめとして、農業経営の若手リーダーや後継者の育成により、活気のある地域づくりが求められています。

また、産業振興の観点からも、地域資源を生かした伝統産業の維持と保全に努め、販売先の拡大による経営の安定を図り、技術の継承に努めていく必要があり、農産物と伝統工芸品の販売について、九州オルレ八女コースを活用した新たな取り組みも考えられます。

一方、恵まれた天然資源と豊かな自然環境や景観を守ることは、地域の産業を守り人々を癒す土台となることから、後世に継承していくことが大事で、そのためポイ捨てや野焼き等の防止と清掃や美化活動などの取り組みも更に求められています。

テーマ5 《歴史、文化活動・地域コミュニティ対策》

各行政区とも、地域資源として受け継がれてきた伝統行事や歴史遺産を共有財産として保存に努める一方で、地域交流行事についてもそれぞれ行政区の特色ある文化として形成、継承されてきています。しかし、こうした伝統行事や歴史遺産、地域交流行事等に対する住民の理解や認識に温度差があることの指摘や、若い人にとっては負担と感ずるといった声も聞かれます。

しかし、伝統行事や歴史遺産、地域交流行事の継承や保存を通して地域コミュニティの役割を果たしている一面もあることから、今後、伝統行事や歴史遺産、地域交流行事等について、一人ひとりが目的等を理解できる啓発活動の取り組みが急務となっております。その上で地域の歴史遺産を知り地域の魅力を再発見するとともに、世代間の交流と同年代毎の交流をいかに進めるか、また若い世代の負担軽減を考慮しつつ、地域に入りやすい環境づくり(時代の流れに沿った見直し・合理化)、並びに連携・協力の仕組みづくりが必要となっています。

そして、各行事等を通して地域コミュニティの再構築に向けた、地域住民相互の交流と理解を深めるための取り組みが求められています。

1. 基本理念

将来 住みよく 活力ある
忠見校区をめざして

私たちは、自然の恵みと人々のやさしさ、思いやりを大切にするとともに、みんなが生き生きと輝き、支え合うことで安心して暮らせるふるさとづくりをめざします。

また、忠見校区に生まれ育った人や新しい居住者が誇れるふるさととなるように、みんなの心をひとつにして、忠見校区の将来を描き、住み続けたいまちづくりを進めていきます。

2. 基本目標

1. 安全・安心で暮らせる快適なまちづくり

2. 老若男女ふれあいを大切に育むまちづくり

3. 地域が元気で生き生きするまちづくり

4. 自然を身近に感じ、環境にやさしいまちづくり

5. 歴史と伝統を大切に、新しい文化のまちづくり

第5章

忠見校区地域振興計画実施計画

忠見校区の将来像を実現するため、「現状・課題等」から抽出した課題・問題点を分析し、考えられる具体的取り組みとして、次のような実施計画書をまとめ示しています。

なお、この計画書は、概ね10年後の将来像を想定し、その実現に向け様々な取り組みを行っていきませんが、計画はより良いまちづくりをめざすため、随時見直しを行っていきます。

『用語解説』

《実施主体》	「住民」に○は、地域住民が主体的に取り組む事業・活動
	「協働」に○は、住民と行政等が取り組む事業・活動
《実施時期》	「短期」は、すぐに取り組む(概ね3年以内に)
	「中期」は、近い将来取り組む(概ね4年～6年以内に)
	「長期」は、じっくり時間かけて取り組む(概ね7年～10年以内)

◇基本目標

1. 安全・安心で暮らせる快適なまちづくり

◇方針 地域のつながりを基本にして、人々が安全・安心で快適に生活できるまちづくりをめざします。

施策	具体的取組み		実施主体		実施時期		
			住民	協働	短期	中期	長期
防犯対策の充実	①街路灯、防犯灯の整備	(ア)点検及び必要箇所調査の実施	○		○		
		(イ)必要箇所への設置		○	○		
		(ウ)LED照明化		○	○		
	②防犯カメラの設置	(ア)地域の安全安心を念頭に協議(必要箇所の検討)	○			○	
(イ)行政等への提案、要望、設置			○		○		
③防犯パトロール隊の組織化	(ア)全行政区設置	○		○			
④防犯講習会の開催	(ア)二セ電話詐欺、不審者対応など		○	○			
防災対策の充実	①自主防災組織の強化	(ア)初期消火活動訓練の実施		○	○		
		(イ)災害図上訓練の実施		○	○		
		(ウ)避難誘導訓練の実施		○	○		
②自然災害がもたらす危険箇所の調査と対応	(ア)地域での危険箇所の点検調査	○		○			
	(イ)市作成のハザードマップとの照合点検		○		○		
	(ウ)緊急危険箇所への要望と対応		○		○		
交通安全対策の充実	①交通安全パトロール隊の組織化(ボランティア)	(ア)地域独自の交通安全パトロール隊の設置	○		○		
		(イ)下校時の交通安全見守り体制の拡大	○		○		
	②交通安全教室の開催	(ア)意識の高揚、マナー向上の教室		○	○		
		(イ)高齢者対象の交通安全教室		○	○		

施策	具体的取組み		実施主体		実施時期		
			住民	協働	短期	中期	長期
交通安全の充実対策	③通学路危険箇所の整備	(ア)点検及び危険箇所調査	○		○		
		(イ)歩道、カーブミラー、ガードレール、グリーンベルトなどの設置要望と対応		○	○		
		(ウ)速度抑制等の措置要望と対応		○	○		
生活環境の保全充実	①環境ネットワークの整備	(ア)住環境相談の受付（地域情報収集と対応策協議）	○		○		
		(イ)情報及び相談内容によって関係機関へ要望と対応		○	○		
	②緊急時及び防災上の安全道路の整備	(ア)生活道路における緊急車両の進入及び防災上に必要な点検調査	○		○		
		(イ)拡幅、改良等の整備について関係機関へ要望と対応		○	○		

◇基本目標

2. 老若男女ふれあいを大切に育むまちづくり

◇方針 人と人のふれあいを大切に、支え合うまちづくりをめざします。

施策	具体的取組み		実施主体		実施時期		
			住民	協働	短期	中期	長期
福祉・健康対策の充実と推進	①高齢者・独居老人等への支援組織化（ボランティア）	(ア)向う三軒両隣りの推進（隣近所の支え合い・助け合い）	○		○		
		(イ)広域お助け倶楽部(仮称)の設置(ゴミ出し、買い物、電球交換ほか)	○			○	
	②緊急連絡体制の整備	(ア)声かけ運動（安否確認）	○		○		
		(イ)要介護者名簿作成	○		○		
	③生き生きサロンの充実	(ア)参加しやすいサロン環境づくり	○		○		
	④ふる里タクシーの利用推進	(ア)ふる里タクシーの仕組みと登録推進		○	○		
		(イ)利便性向上への要望と対応		○	○		
	⑤元気高齢者活動支援	(ア)現状と意識高揚のためのアンケート実施	○		○		
		(イ)受診呼びかけ運動	○		○		
	⑥地域住民の健康維持と環境づくりの整備	(ア)健康ラジオ体操会（仮称）の創設（地域住民の自主的組織）	○		○		
(イ)健康増進スポーツ大会の開催(ソフトボール大会・グランドゴルフ大会・ミニソフトバレー大会・初日の出ウォーキング)		○		○			
(ウ)九州オルレ八女コースの活用			○		○		
子育て支援と教育対策の充実	①子育て世代への支援充実	(ア)子育て世代と子育て経験者との交流開催		○		○	
		②地域で育てる子供の居場所づくり	(ア)住民交流スポーツ大会の開催(ドッチビー大会、なわとび大会他)	○		○	

施策	具体的取組み		実施主体		実施時期		
			住民	協働	短期	中期	長期
子育て・支援と教育対策の実策の	③地域住民の交流を深め、安心感を与える活動	(ア) あいさつ運動の推進	○		○		
		(イ) 安全ハウスの周知徹底と啓発活動	○		○		
		(ウ) 子どもの防犯、見守り活動（安全の確保、下校時・その他）	○			○	
	④子供と高齢者の交流促進	(ア) 高齢者伝授教室（仮称）の開催（高齢者の得意な分野を学び、体験する。しめ縄づくり、郷土料理ほか）		○		○	
(イ) 忠見小学校との連携				○			
地域コミュニティの推進	①地域社会の再構築の推進（顔の見える地域づくり）	(ア) 地域行事の見直しと継承（不参加者、無関心者の交流対策）	○			○	
		(イ) 世代間交流の推進	○		○		
		(ウ) 井戸端会議ができる公民館	○		○		
		(エ) 一休みできる空間の新設（木陰・椅子が必要）	○			○	
	②各種団体の活動強化支援（連携・協力）	(ア) まちづくり協議会構成の各団体の自主的、主体的活動の支援	○		○		
		③校区ふれあい事業の充実	(ア) 忠見校区芸能大会の充実	○		○	
	(イ) その他校区民ふれあい活動		○			○	

◇基本目標

3. 地域が元気で生き生きするまちづくり

◇方針 人と人が行き交い、人と地域が交流し、元気な地域が芽生えるまちづくりをめざします。

施策	具体的取組み		実施主体		実施時期		
			住民	協働	短期	中期	長期
産業づくりの推進	①企業誘致の促進	(ア) 企業誘致の要望・推進		○			○
		②交流と体験	(ア) 小学校児童・中学校生徒の地元農業・産業との交流		○		○
	(イ) 特産品の掘り起こし			○		○	
	③農地保全対策と法人化対策	(ア) 地域とつながった農業生産法人への支援協力		○		○	
		④地産地消の推進	(ア) 農産物等の直売所の開設	○			○
	(イ) 後継者育成事業の要請			○		○	
	(ウ) 校区内での移動（軽トラック等）農産物直売		○			○	
観光・交流の促進	①資源の掘り起こしと活用	(ア) 地域資源の発掘と調査	○			○	
		(イ) 新たな観光商品や特産品、加工品の開発支援		○		○	
		(ウ) 観光振興、交流促進への支援		○		○	
	②人・モノ・情報の交流促進	(ア) 視察研修の実施		○		○	
		(イ) 周辺地域との情報交換と連携		○		○	

◇基本目標

4. 自然を身近に感じ、環境にやさしいまちづくり

◇方針 郷土の大切な自然を守り、環境にやさしいまちづくりをめざします。

施策	具体的取組み		実施主体		実施時期		
			住民	協働	短期	中期	長期
自然環境の保全	①河川の整備	(ア) 護岸整備と浚せつ工事への住民協力体制の整備と関係機関への要望		○			○
		(イ) 犬のフン、不法投棄対策とし看板の設置		○	○		
	②モラル改善事業の啓発	(イ) 屋外焼却の禁止の徹底と周知		○	○		
		(ウ) ゴミ出しルールの徹底と周知		○	○		
		(エ) 環境美化活動への取組み	○		○		
		(オ) 悪臭対策における関係機関との連携		○	○		

◇基本目標

5. 歴史と伝統を大切に、新しい文化のまちづくり

◇方針 地域に根ざした歴史と伝統を大切に、新しい文化の創造により、心のふるさととしてのまちづくりをめざします。

施策	具体的取組み		実施主体		実施時期		
			住民	協働	短期	中期	長期
歴史・文化の保存と継承	①忠見校区の歴史と文化の振興	(ア) 忠見校区にまつわる歴史や文化の掘り起し調査研究		○		○	
		(イ) 名所・旧跡の案内版設置		○		○	
		(ウ) ボランティアガイド員の育成		○		○	
	②伝統行事（イベント）の継承	(ア) 行事の歴史的要素（継続的意義）の確認と周知	○			○	
		(イ) 無理強いにならない、誰もが参加できる行事の見直しの検討	○			○	
		(ウ) ふるさとに誇りが持てる伝統行事、文化を次世代へ引き継ぐ活動	○			○	
	③時代にあった文化活動の推進	(ア) 地域行事を通し、世代間の結束強化	○		○		
		(イ) 若い世代が考えた新しい文化・行事の取組み	○		○		

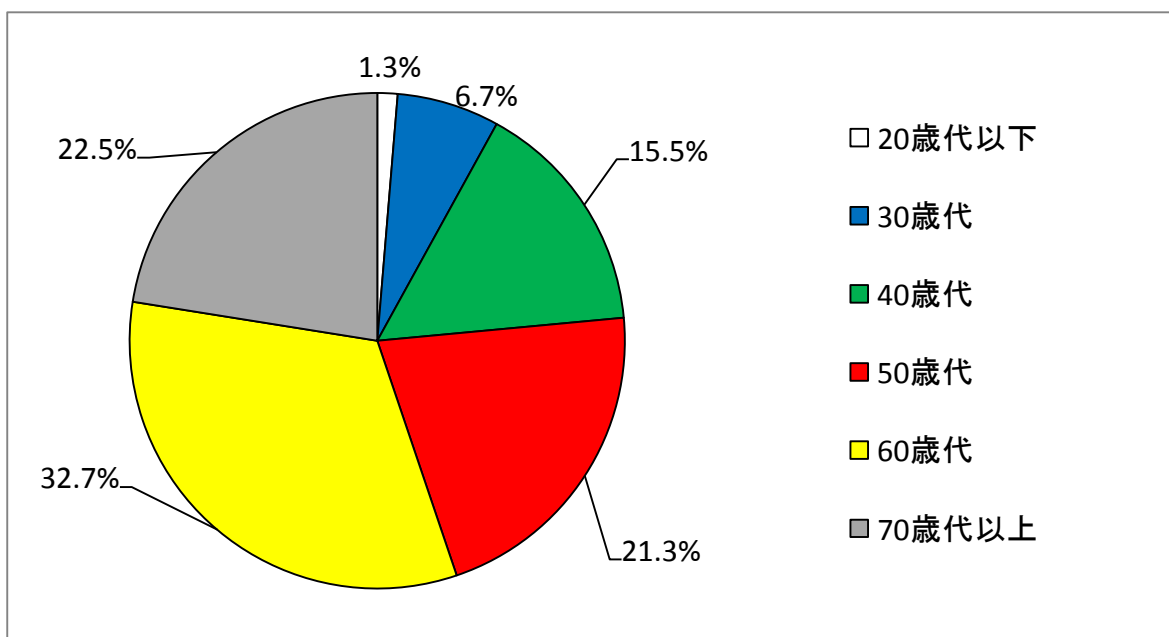
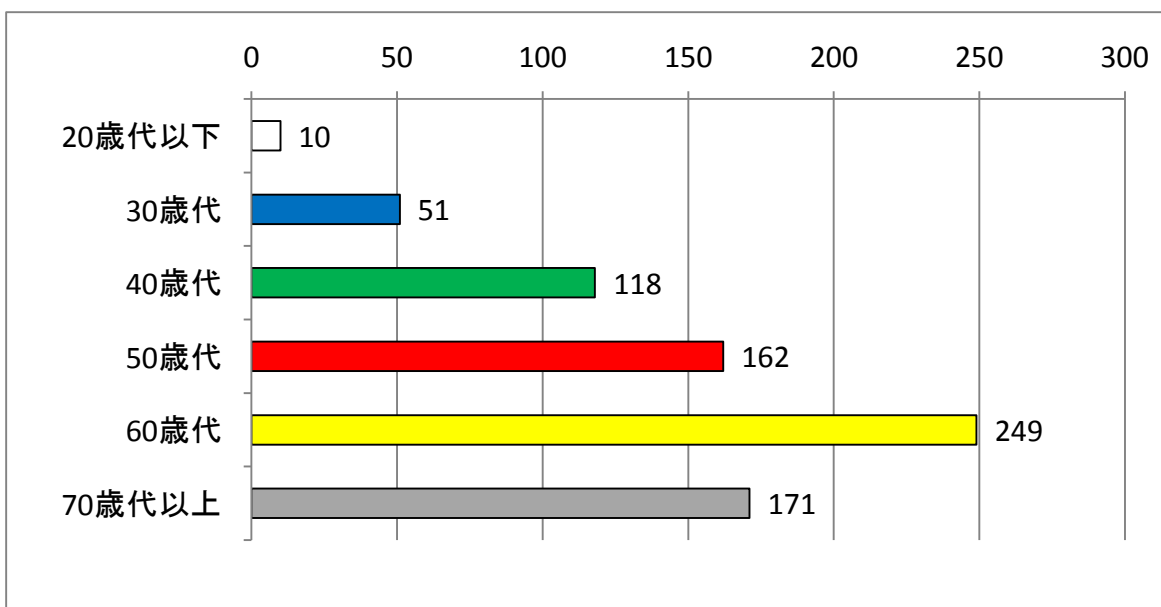
付 属 資 料

1. 地域振興計画策定アンケート調査結果
 - (1) アンケート集計 総括表
 - (2) アンケート集計 年代別集計表
 - (3) アンケート意見・提案集
2. 忠見校区地域振興計画策定委員名簿

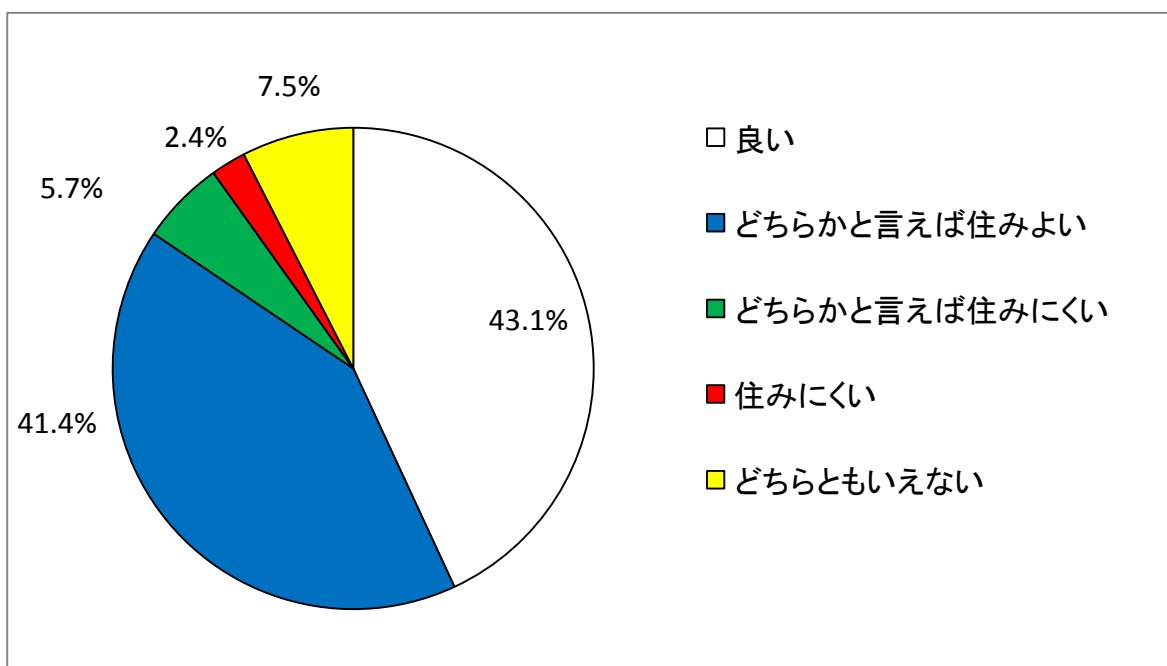
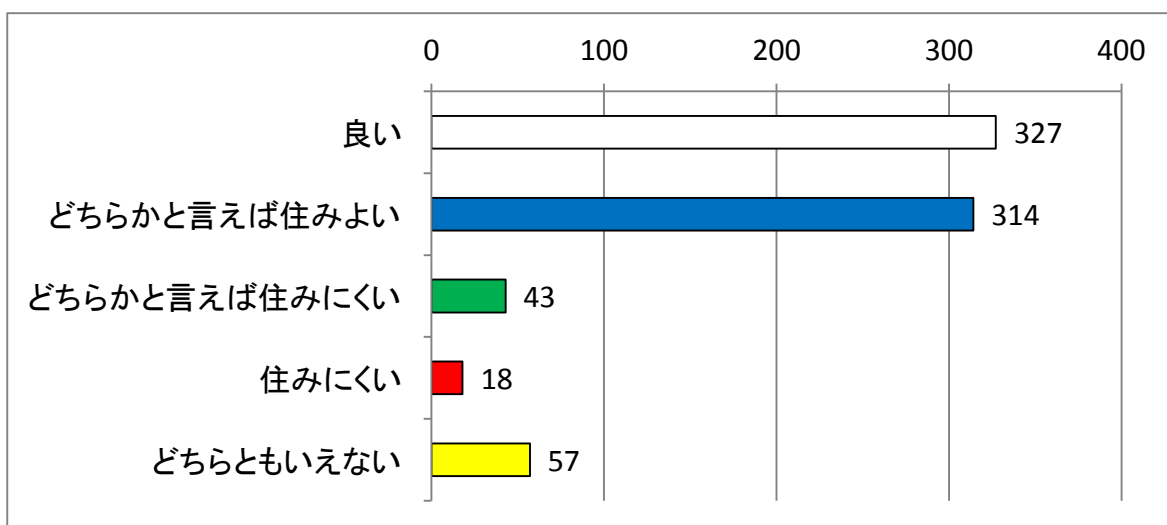
1. 地域振興計画策定アンケート調査結果

(1) アンケート集計 総括表

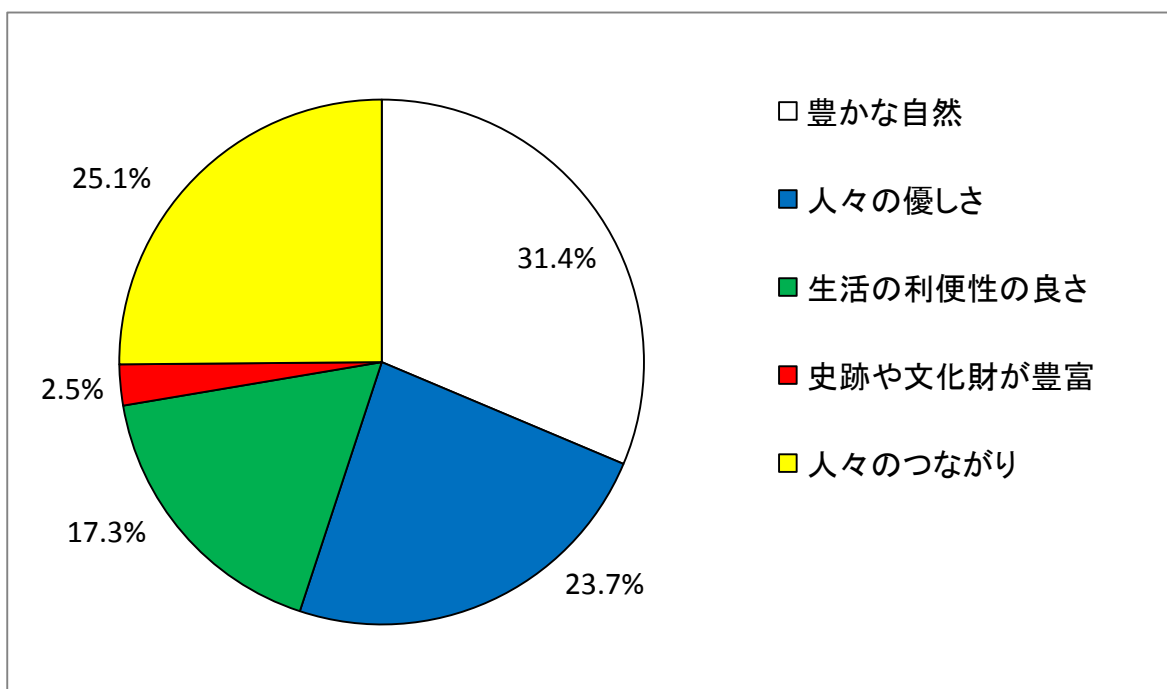
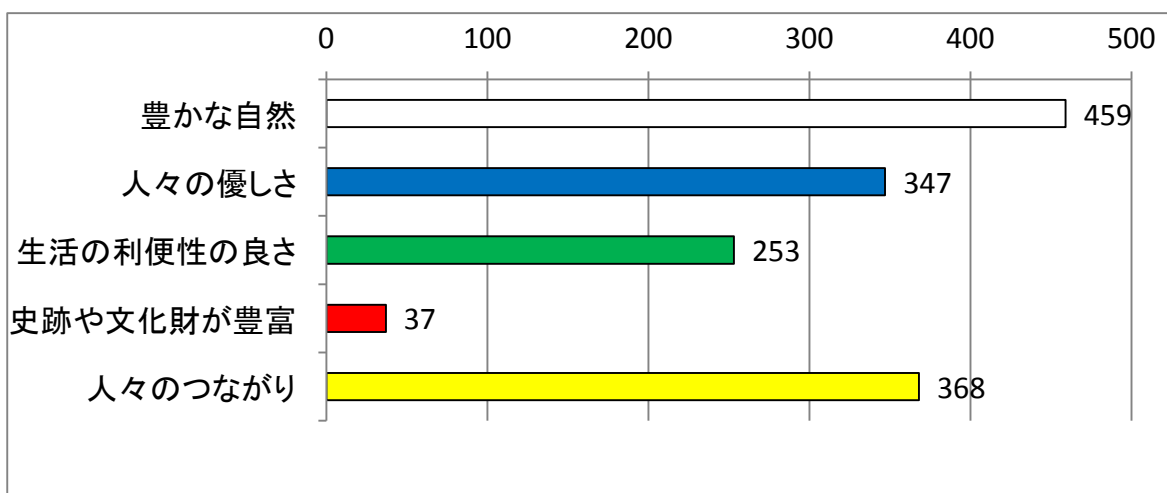
Q1 アンケート記入者の年齢は？		全回答数	回答数	回答割合
1	20歳代以下	761	10	1.3%
2	30歳代		51	6.7%
3	40歳代		118	15.5%
4	50歳代		162	21.3%
5	60歳代		249	32.7%
6	70歳代以上		171	22.5%



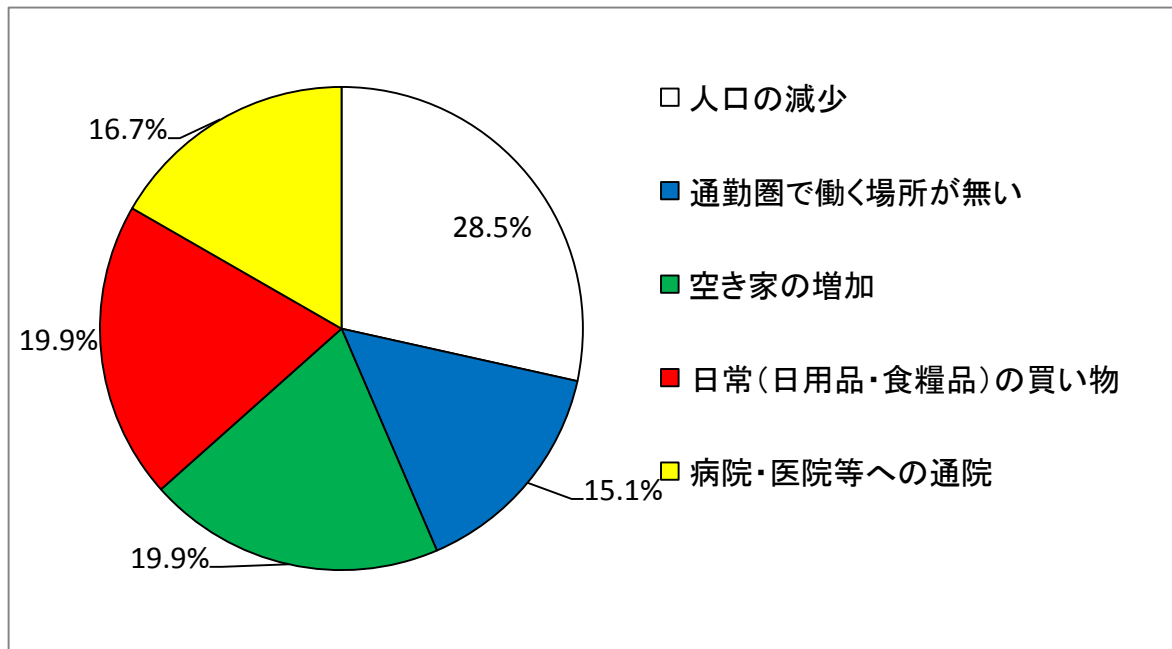
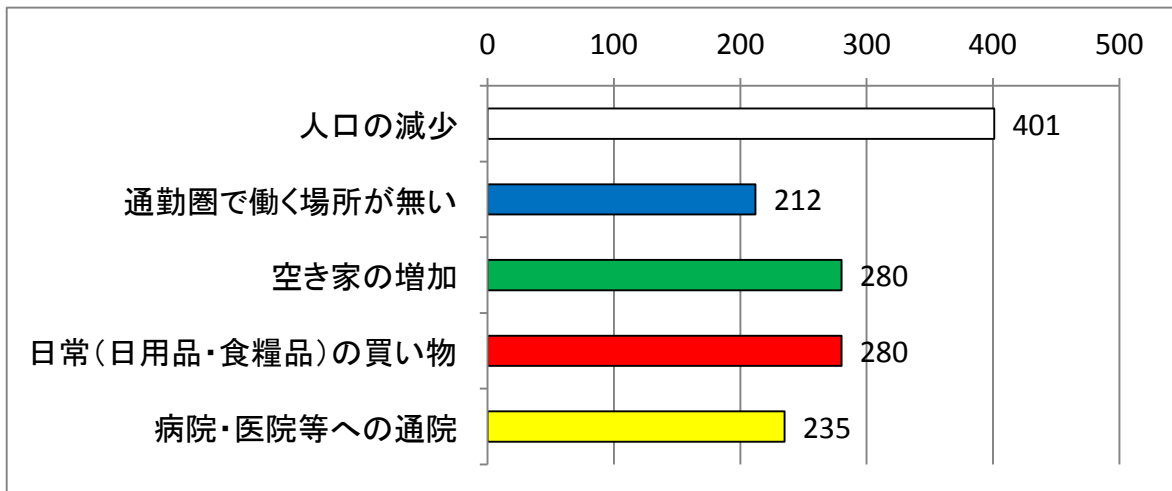
Q2 忠見校区は、住みよい地域と思いますか？		全回答数	回答数	回答割合
1	良い	759	327	43.1%
2	どちらかと言えば住みよい		314	41.4%
3	どちらかと言えば住みにくい		43	5.7%
4	住みにくい		18	2.4%
5	どちらともいえない		57	7.5%



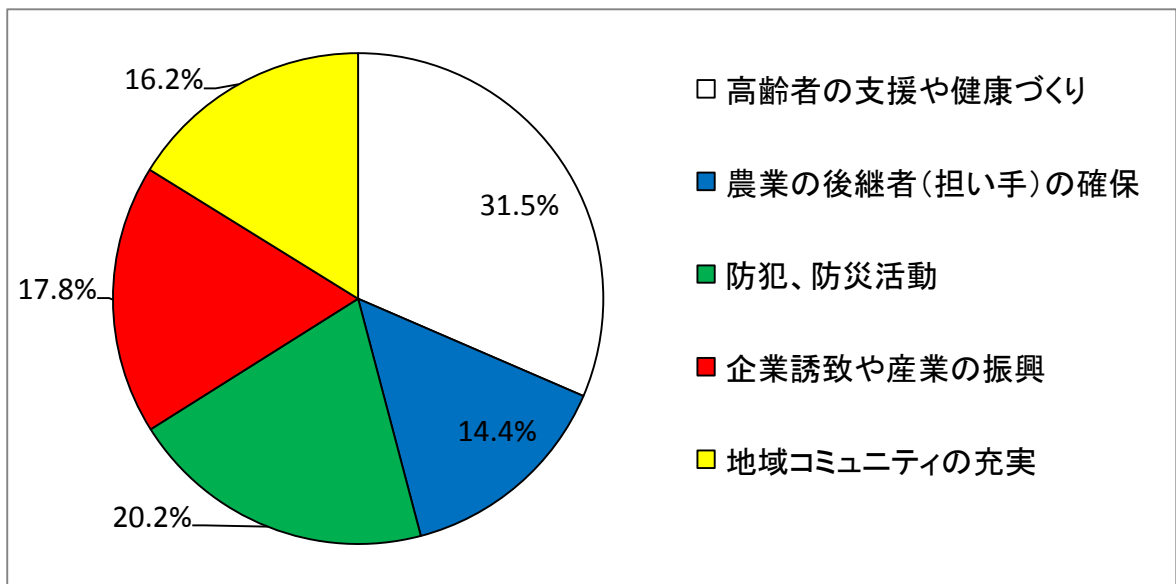
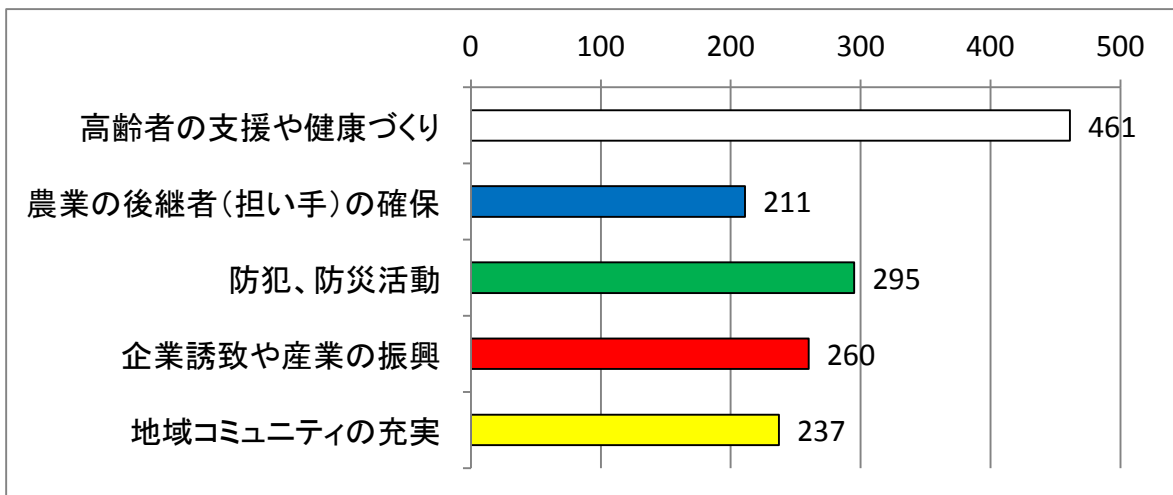
Q3 大切にしたい忠見校区の良さは？		全回答数	回答数	回答割合
1	豊かな自然	1,464	459	31.4%
2	人々の優しさ		347	23.7%
3	生活の利便性の良さ		253	17.3%
4	史跡や文化財が豊富		37	2.5%
5	人々のつながり		368	25.1%



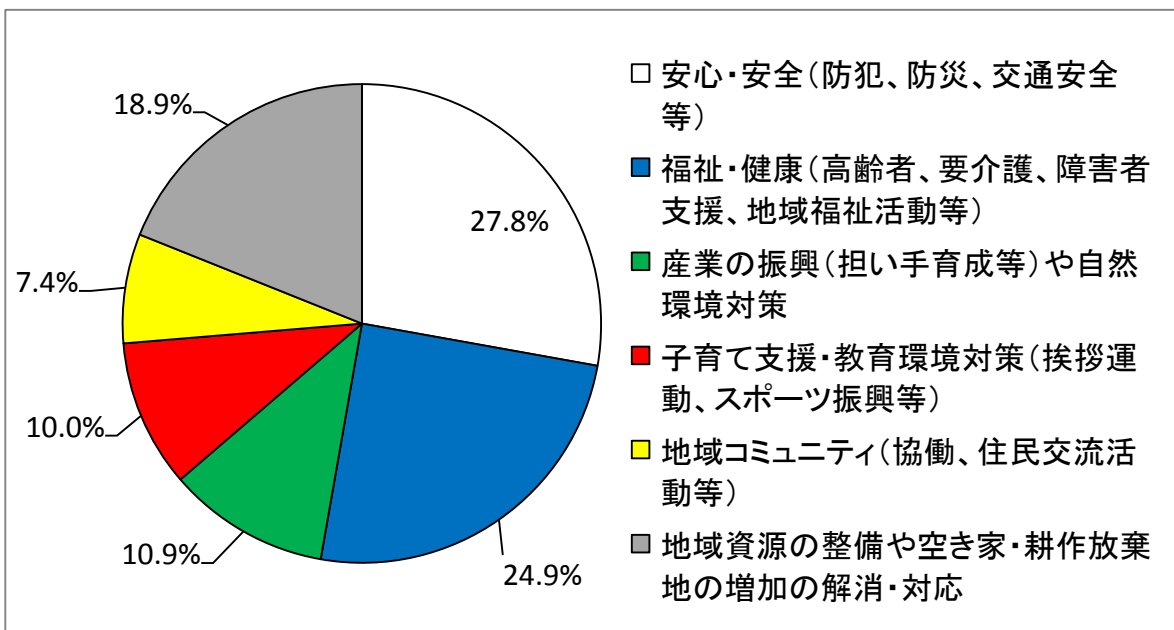
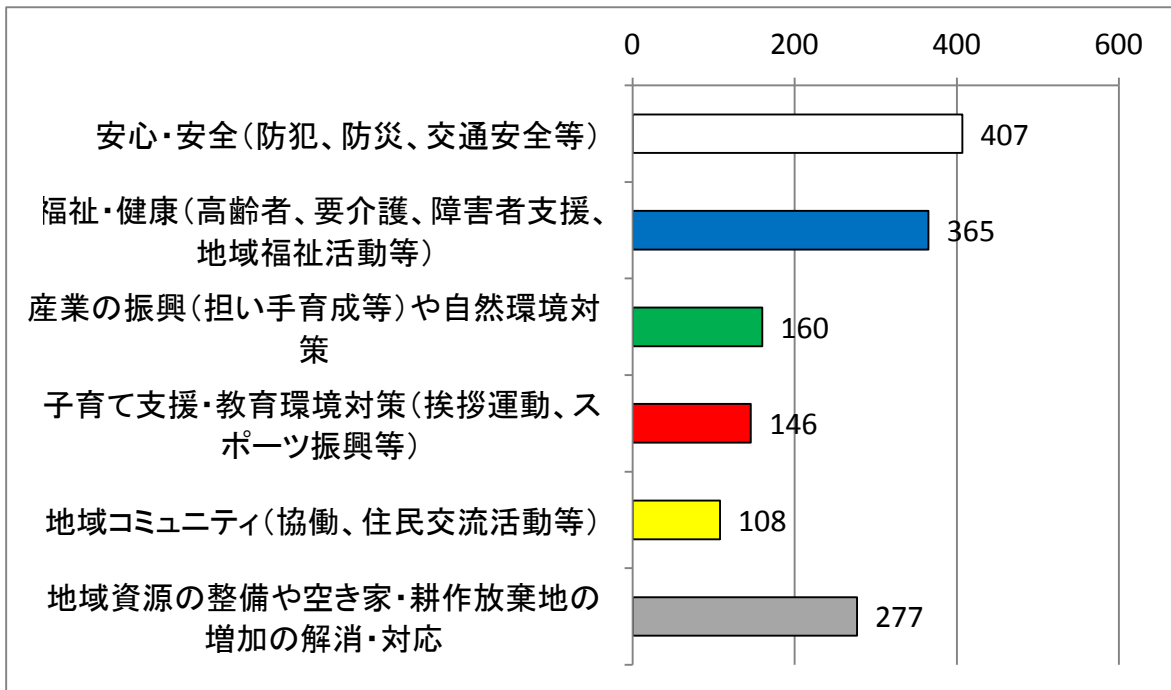
Q4 生活を維持する上で不便や不安は？		全回答数	回答数	回答割合
1	人口の減少	1,408	401	28.5%
2	通勤圏で働く場所が無い		212	15.1%
3	空き家の増加		280	19.9%
4	日常(日用品・食糧品)の買い物		280	19.9%
5	病院・医院等への通院		235	16.7%



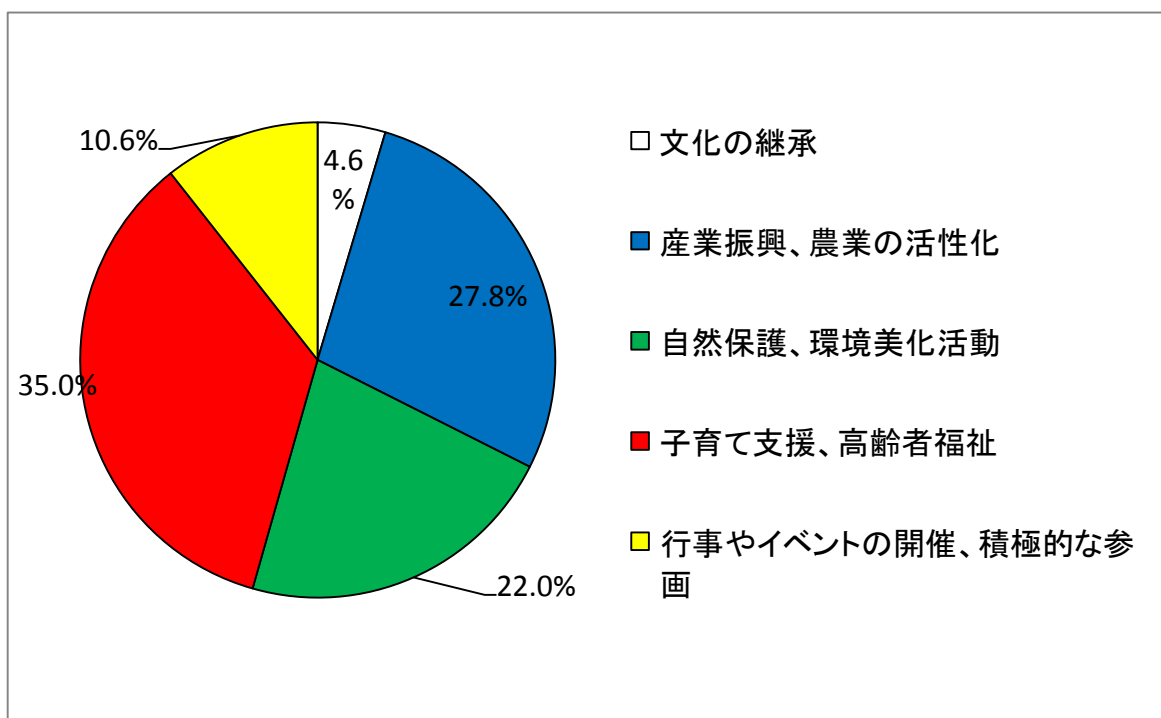
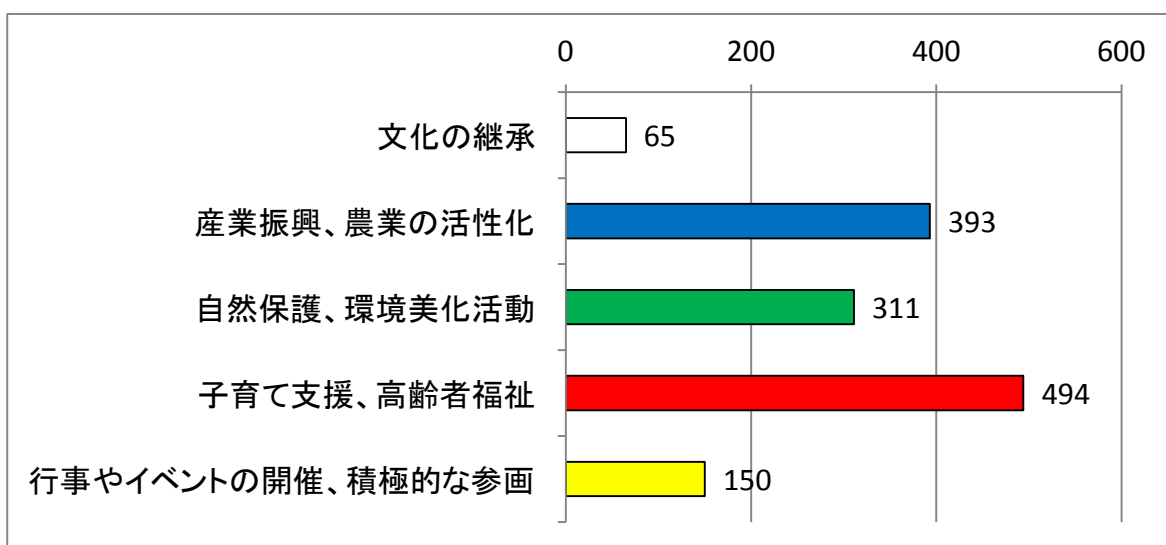
Q5 生活する上での課題は？		全回答数	回答数	回答割合
1	高齢者の支援や健康づくり	1,464	461	31.5%
2	農業の後継者(担い手)の確保		211	14.4%
3	防犯、防災活動		295	20.2%
4	企業誘致や産業の振興		260	17.8%
5	地域コミュニティの充実		237	16.2%



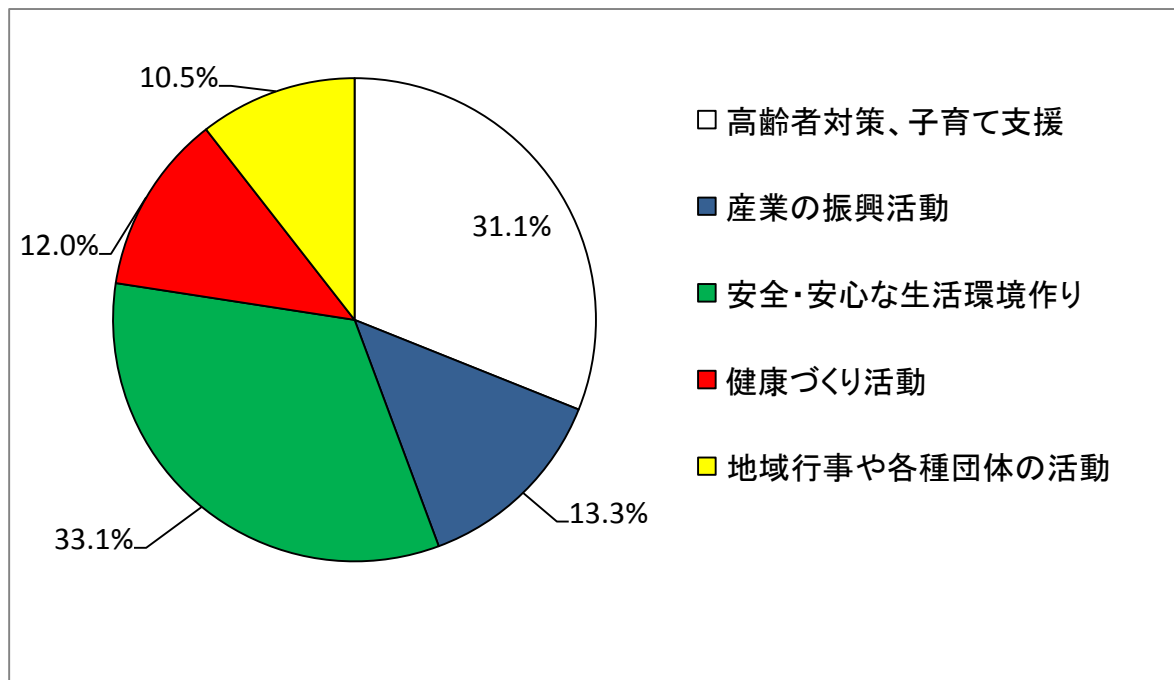
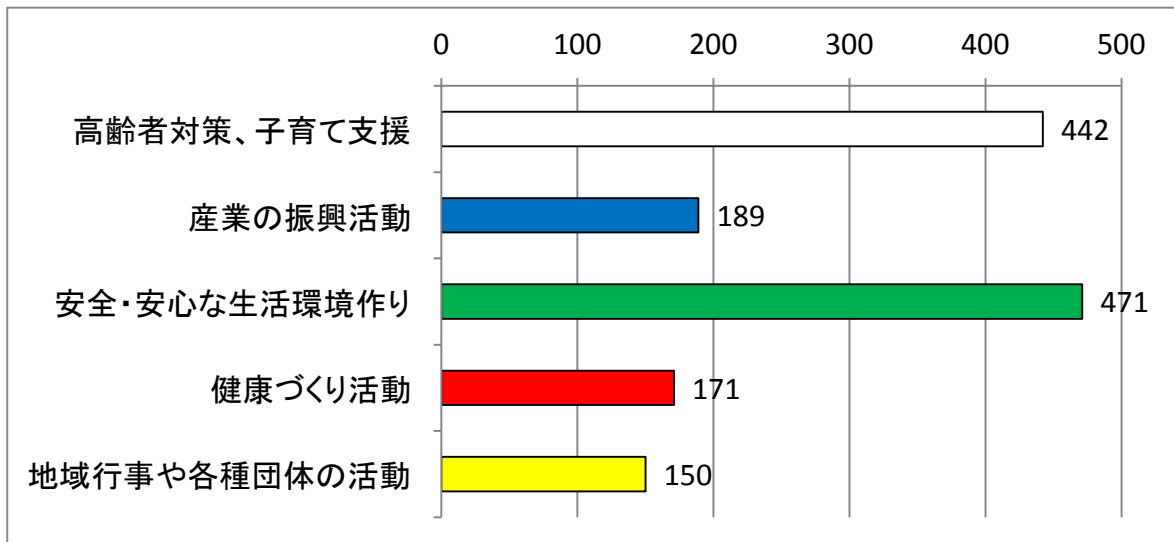
Q6 忠見校区にとって、今後重要なことは？		全回答数	回答数	回答割合
1	安心・安全(防犯、防災、交通安全等)	1,463	407	27.8%
2	福祉・健康(高齢者、要介護、障害者支援、地域福祉活動等)		365	24.9%
3	産業の振興(担い手育成等)や自然環境対策		160	10.9%
4	子育て支援・教育環境対策(挨拶運動、スポーツ振興等)		146	10.0%
5	地域コミュニティ(協働、住民交流活動等)		108	7.4%
6	地域資源の整備や空き家・耕作放棄地の増加の解消・対応		277	18.9%



Q7 活気ある住み良い忠見校区にするには、何が必要？		全回答数	回答数	回答割合
1	文化の継承	1,413	65	4.6%
2	産業振興、農業の活性化		393	27.8%
3	自然保護、環境美化活動		311	22.0%
4	子育て支援、高齢者福祉		494	35.0%
5	行事やイベントの開催、積極的な参画		150	10.6%

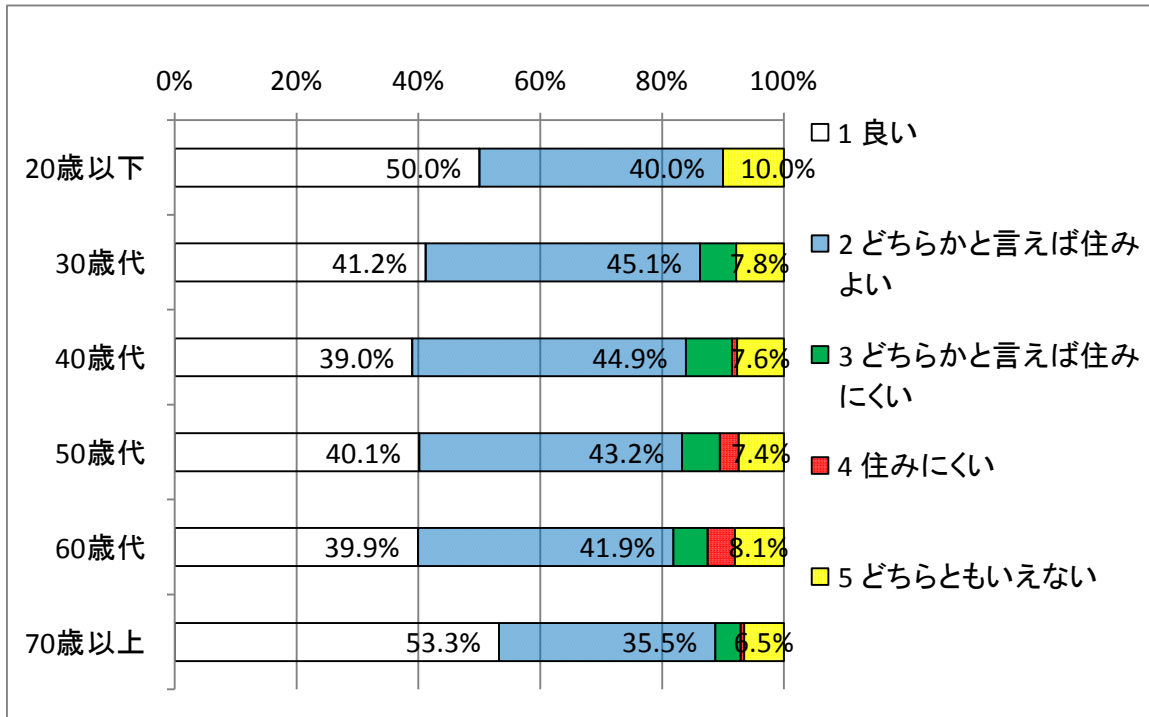


Q8 地域活性化につながる「校区まちづくり協議会」の活動は何ですか？		全回答数	回答数	回答割合
1	高齢者対策、子育て支援	1,423	442	31.1%
2	産業の振興活動		189	13.3%
3	安全・安心な生活環境作り		471	33.1%
4	健康づくり活動		171	12.0%
5	地域行事や各種団体の活動		150	10.5%

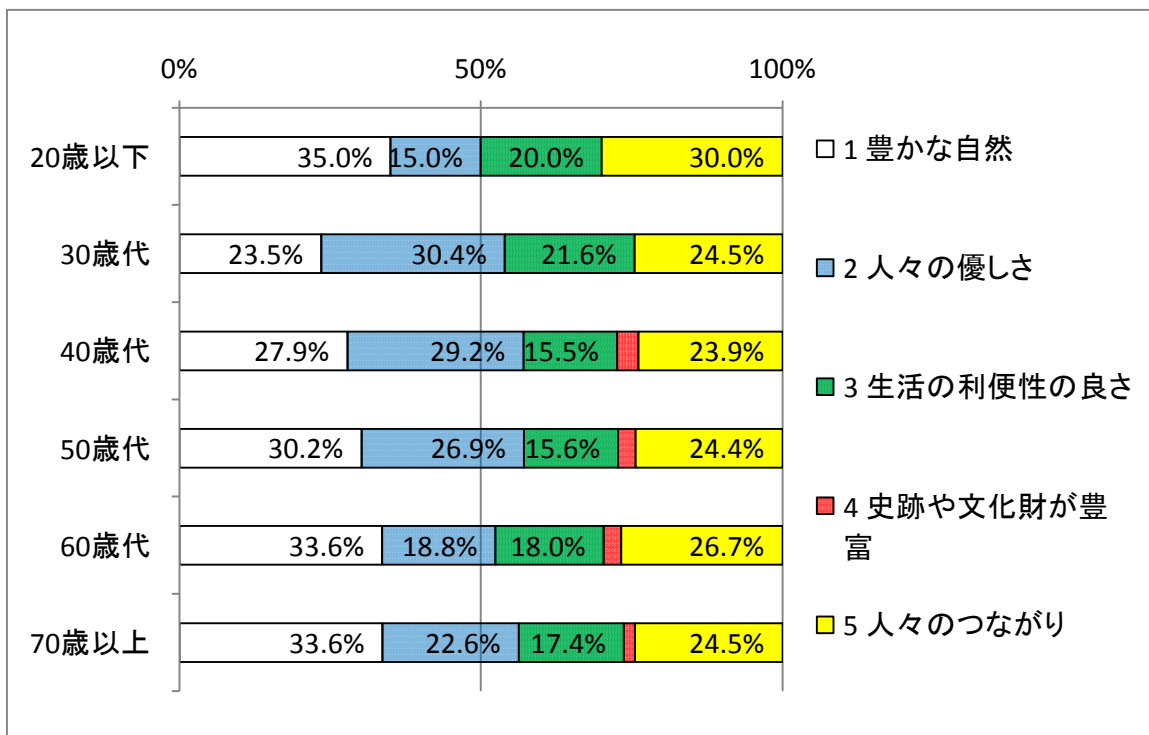


(2) アンケート集計 年代別集計表

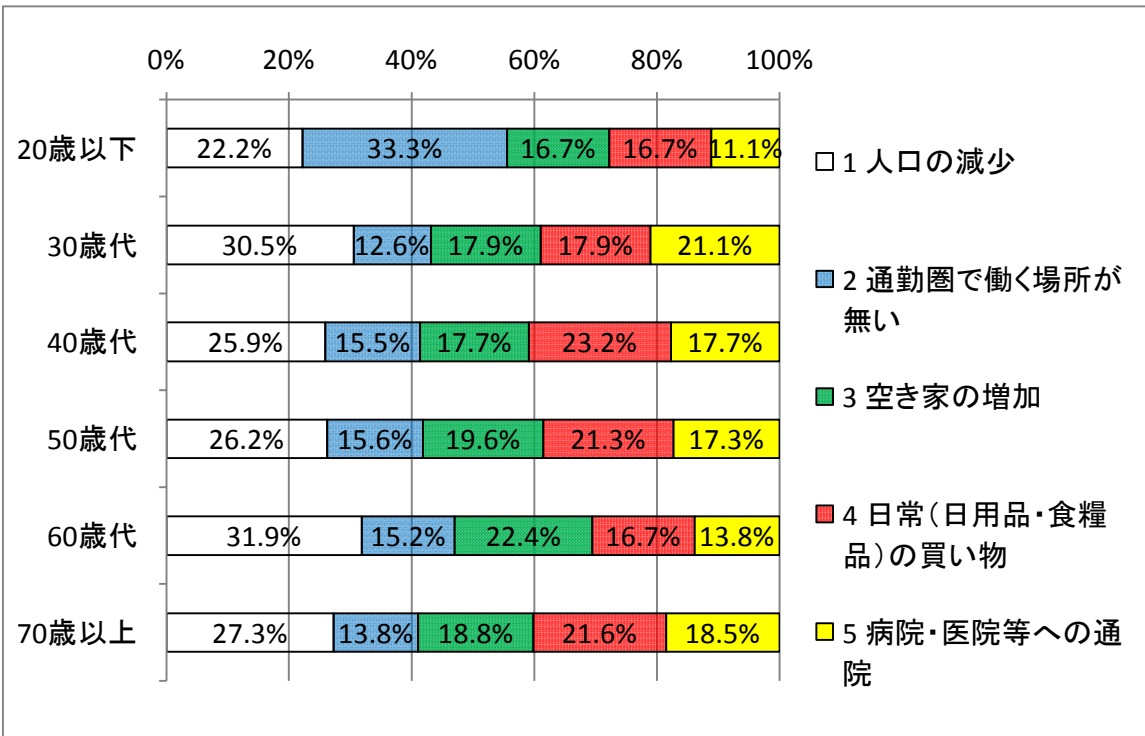
Q2 忠見校区は、住みよい地域と思いますか？



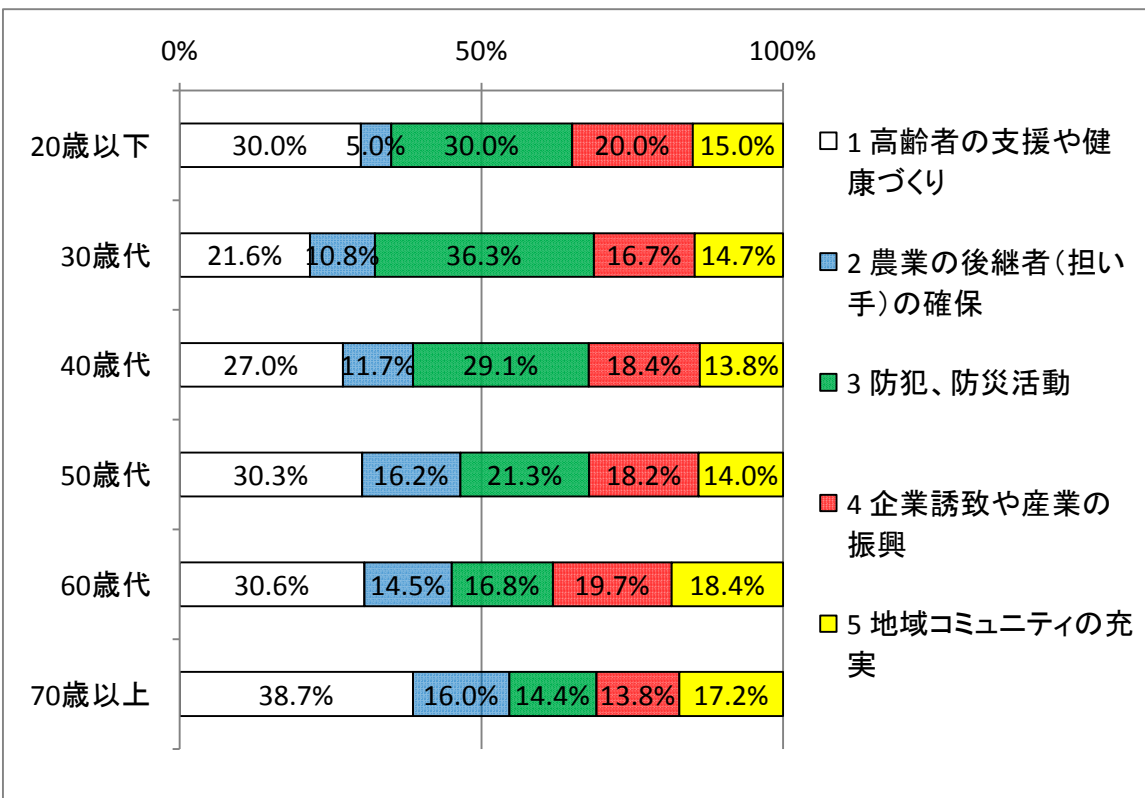
Q3 大切にしたい忠見校区の良さは？



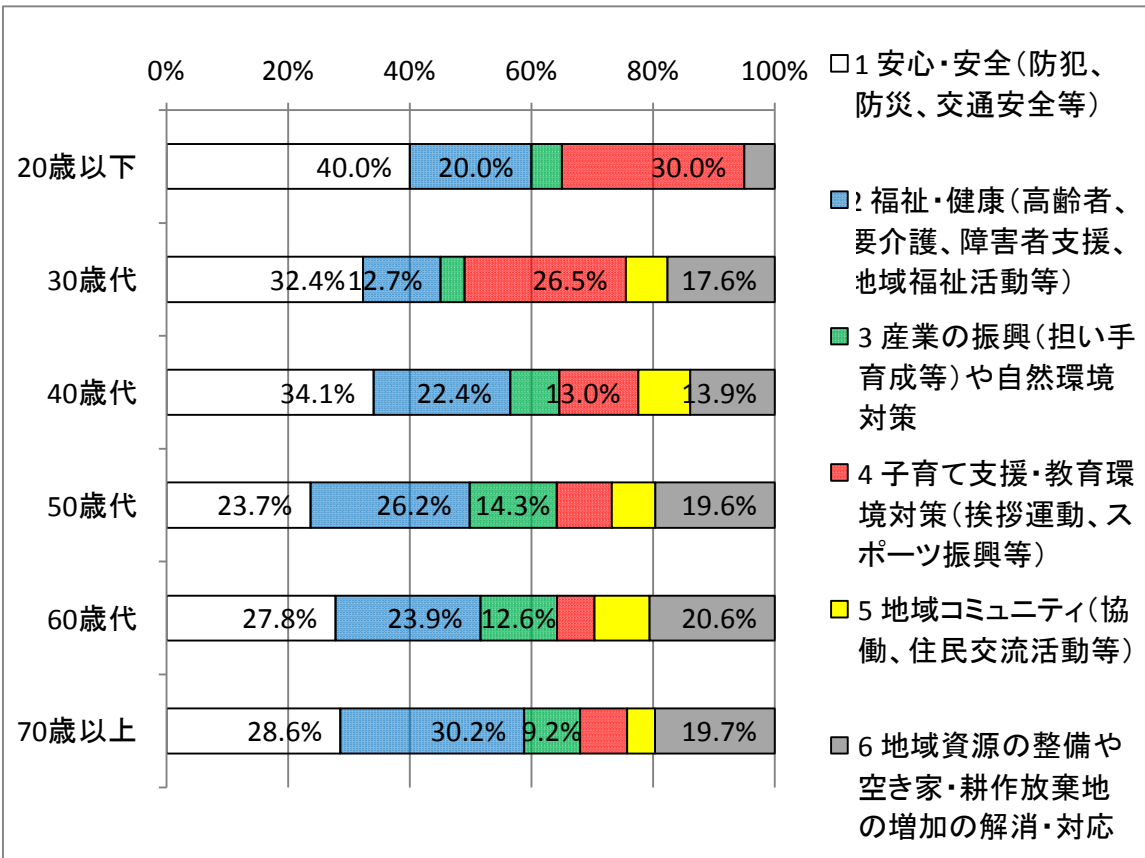
Q4 生活を維持する上で不便や不安は？



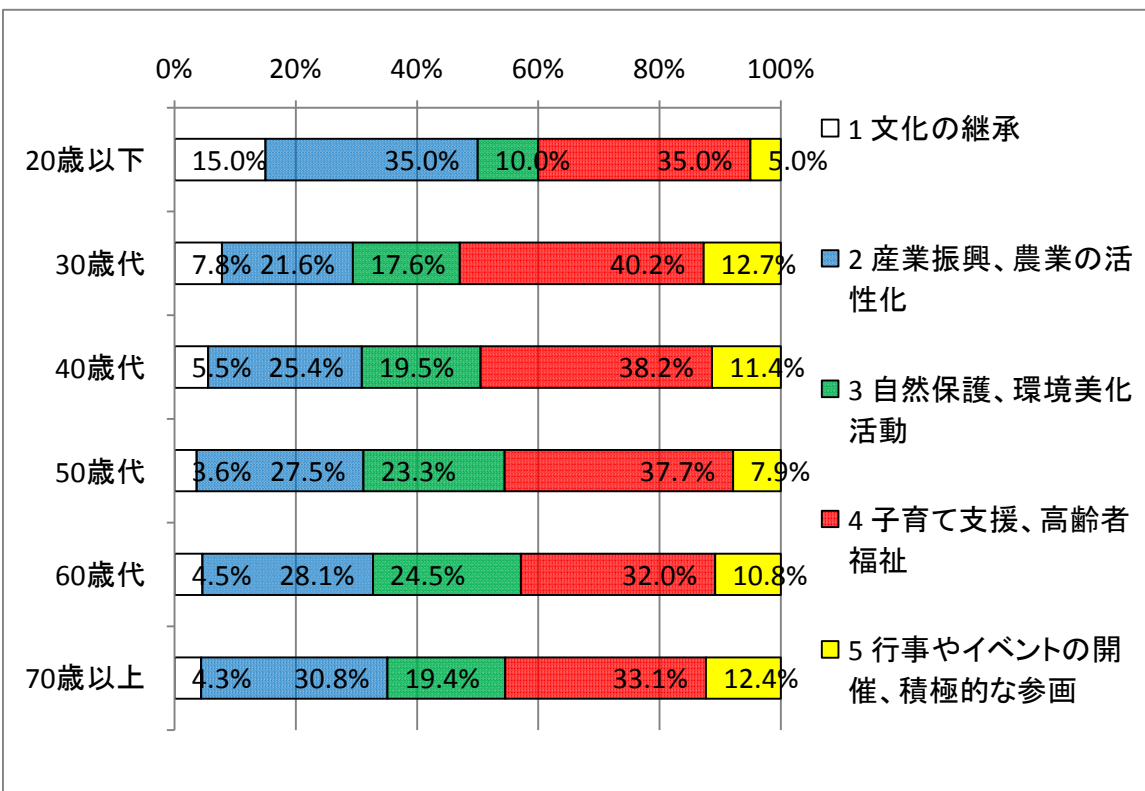
Q5 生活する上での課題は？



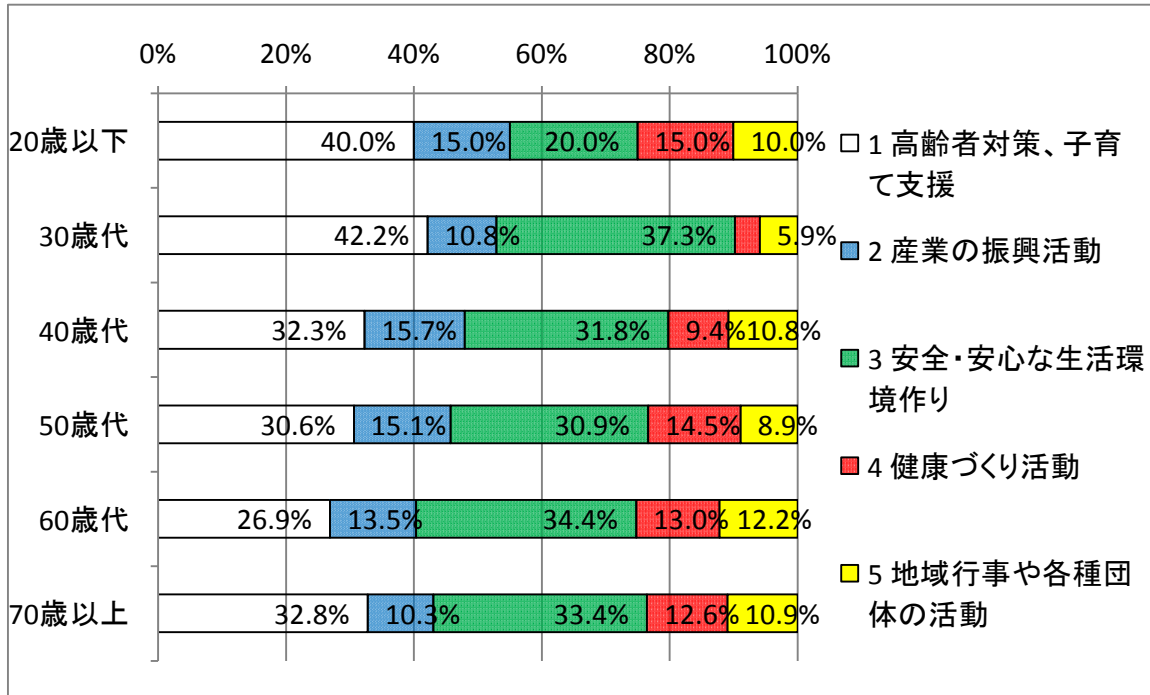
Q6 忠見校区にとって、今後重要なことは？



Q7 活気ある住み良い忠見校区にするには、何が必要？



Q8 地域活性化につながる「校区まちづくり協議会」の活動は何ですか？



(3) アンケート意見・提案集

No分類	アンケートの意見・提案施策（取組み）の区分
1	まちづくり協会の取組み・振興、地域コミュニティ作り
2	健康づくり・医療体制充実
3	河川、防災、消防体制充実
4	自然環境保全・公害防止
5	防犯・交通安全・消費生活対策
6	子育て支援充実
7	高齢者福祉充実
8	生活排水対策・下水道整備
9	農業、産業振興、後継者育成、企業誘致推進
10	道路、交通体制整備
11	住宅、空き家や耕作放棄地等の整備
12	文化財保存・活用・文化振興
13	景観保全・公園、緑地整備
14	その他

年代別 回答件数

①20歳代…2件
 ②30歳代…10件
 ③40歳代…19件
 ④50歳代…9件
 ⑤60歳代…40件
 ⑥70歳代…15件
 合計…95件

1 まちづくり協会の取組み・振興、地域コミュニティ作り	
歳代	意見・提案
20	忠見校区は、本当にいい町だと思います。各種行事やイベントを通じて、町を活性化させ、住民の交流が図れるよう、まちづくり協会の計画を楽しみに、そして期待しています。
30	このアンケートにたいして、問の回答が非常に限られたものであり、作ってた方の意向が強く感じられました。校区のまちづくりをする為には、偏った意見をまとめても駄目なのではないでしょうか。作成者の意図する答えをだすのではなく、広く求めていることを探り、それを集約していけば、皆が求めるものに近づき、校区の皆が自ら実践に向かえるまちづくりのアイディアが出るものだと思います。今後も忠見校区のより良い環境作りに期待しています。
30	校区内には、持家でなくアパート等の賃貸に住んでいる人も多いと思いますが、「アパート暮らしは定住しないから…」「よそ者だから…」と、地域行事に積極的に参加を呼びかけない（受入れようとしない）意識があるように感じます。地域柄、よそ者を受け入れにくい体質なのか？…「忠見はこうだから！」「あの人はよその人だから」と実際に住んでみて体感しました。伝統や文化を守ることも大切なことですが、新しい人や物を受け入れて、より良い物にしていくことにも気付いて欲しいと思います。
30	年に、2～3回イベントをする。地域で日帰りでもいいので、旅行をし親睦を深める。子育て支援の一環で、学童支援のボランティアがあると助かります。
40	住民交流活動等をなくしてほしい。地域行事やイベントをなくしてほしい。交流活動や地域行事をしても楽しくないです。
40	隣組を見たら、どんどん高齢化してきて、隣組長をする家も減ってくる。高齢になると自分のことで精一杯で、お世話どころでない。地域活性化が大事だと思うが、仕事をしている中年世代にとって、休みの日に地域行事ばかり出るのはきつい。
40	1月1日の初日の出を見にパイロットへ登る行事は迷惑で廃止して欲しい。家庭を犠牲にしてまで世話をする必要無いと思う。（ぜんざいも美味しくない）お祭りや芸能大会等も廃止して欲しい。それよりも、もっと災害時の訓練等を増やして欲しい。水害や地震等いつおこるかわからない。防災に力を入れて欲しい。

歳代	意見・提案
40	公民館等の有効活用（子供達が遊べる場所、学べる場所が少ない為）
40	忠見校区には、グループホームなどの福祉施設が数多くあり、それを心良く受け入れる事の出来る住民の優しさと環境が備わっていると思います。お年寄りも、子供に声を掛けることが出来、垣根なく緊張なくあいさつができるように、これからもイベントを通して、顔を合わせる機会を作っていきたいと思っています。いつもありがとうございます。
40	<ul style="list-style-type: none"> ・若者と青年層の交流（現状の隣組の問題事項や未来についての協議）（60代と30代の交流） ・各行政区の歴史を伝承する様な交流会（年長者から小中学生へ） ・なぜ、八女中央大茶園ができたか？ 各町内にある氏神様（お宮）の歴史を伝承する。 ・元々地元で生まれた人が参加しない（親がまだ強い為）積極的に参加させるは何かないか？
40	今までのように忠見校区のまつり等で、高齢者や子どもと一緒に参加できる行事を大切にし、続けていけるよう忠見校区から離れていかない環境づくり、それぞれの活動が発表できて、皆に知ってもらい地域住民に理解してもらえるように、協議会の役員の皆様には定例の話し合い等たいへんだと思いますが、私達も校区行事に子どもを連れて参加していくことが活性化すると思います。
40	引っ越ししてきて、18年になります。とても地域の方々があたたかく子供達への声かけなど感謝の気持ちでいっぱいです。忠見校区は、ほんとうに住みやすい環境だと実感している毎日です。
40	町内のために、色々と考えて下さってありがとうございます。まだまだ先のことはありますが、実際にやってくる老後も安心して住めそうな気がします。
50	<ul style="list-style-type: none"> ・恒例行事の見直し ・若者意見の導入 ・若者の住みよい地域作り
50	昔ながらの地元意識が強すぎる。総会で意見など決まった人が意見し、それが強すぎて、なかなか他の人からの意見が聞くことができない。このようなアンケートなどで、いろんな人の意見を聞いてほしい。若い人達をもっと住みよい校区にしてほしい。
50	町内行事の参加に協力しない人もあり、不公平感がある。それを、意見できる年長者もいない為、不満に思うが、人間関係を考えると誰も何も言わない。これでは活性化には、つながらないと思う。
50	第一に、あいさつする事が大事だと思う（知らない人でもあいさつしてほしい。特に、小学生、中学生）
60	協議会の皆さまの御活動ありがとうございます。町内会でも、空き家とか1人～2人暮らしの生活が多くなり、町内会の役員も早く回ってくる状態なので、無理のない活動で良いのではと思います。
60	校区芸能祭の件ですが、出場者が同じでマンネリ化してきた様に思えます。見学者も少ない。各町内からの出し物及び子ども達の出場が好ましいと思います。抽選会の時間になると人が増えます。抽選時間の短縮を希望します。例えば、10～20名位にして、ちょっと高価なものにしたらと思います。
60	忠見校区全体が、仲良く地域づくりを、と思っています。
60	公民館、学校夏休みなどの休み期間の有効利用を期待したい。これをする為には、誰が責任を取るかのとかの問題が多いが、子供会、老人会、だれでも皆が参加し、もっと人間どうしがかかわりあい、職場だけで近所つきあいが出来ない日常にも、皆がきがるく出来る様な環境があればいいと思う。
60	このようなアンケートでは「まちづくり」は、できないと思われる。協議会のメンバーで考えてはどうか？皆の意見を聞いても何もならない。何が必要か、何をすべきかは、行政と一体で考えてゆくべきと思う。

歳代	意見・提案
60	八女市の都市計画マスタープランに基づき、忠見校区の役割に特化したまち（地域）づくりが必要 忠見地区の特性 ○ 若者が自立できる企業がない ○ 兼業農家の長男（非正規雇用が多い） ○ 忠見地区の用途計画の見直し ○ 幹線道路の整備
60	お隣りさんとの会話がいっぱいできればいいなあと思う。
60	私は退職して4年になります。今までは 家庭より職場へ（市外）へ出ていくの1日で、町内を見ることさえありませんでした。現在1日を町内で過ごすことが多くなり、少しずつ町内が見えてきました。1.若者が少ない（20代、30代）2.子供が少ない（10代、0歳代）3.老人が多いこと4.道路を歩いている人が少ない5.車が多い など、現在の日本かと思います。忠見のいいこと、後継者（農業など）が、（若い人）けっこう多い、道路が結構整備されている、地域行事が多いとはいうものの、10年後、20年後を考えると、まちづくり協議会の活躍が期待されます。頑張ってください。
60	長期的な渡るビジョンが必要である。地域交流は、表面だけで内面が不足である。豊かな生活と人間関係をしっかり学ぶべき。心豊かに生きることを皆で考える事は重要だ。昔と今を考えた時、本当に今がいいですか？我田引水、自己満足が世の中をダメにする。子供達が将来住みたい住み易い町造りが必要。高齢者にもっとやさしい町造りをお願いしたい。
60	・忠見校区の会員が参加できるイベント等の開催（祭りや運動会等） ・防犯対策として、牟田行政区で取り組んでいる夜のパトロールを各行政区で開催 ・忠見校区まちづくり協議会の役員に多くの女性の参加 ・忠見校区の一番の観光名所は、八女中央大茶園であるので、これを中心とした取り組みを行い、忠見校区の良さをPRする。
60	公民館を利用して、もっとサークル活動が出来るようにしてほしい。例えば、曜日指定して、囲碁・将棋大会等をするとうれみになるし、知り合いも増えると思う。
60	若者の意見を取り入れる様にしたら、もっと活気ある忠見校区になると思います。その為には、高齢者は、若者の意見をよく聞いてあげる人格になることだと思います。話し合いを聞いていると、若者の意見を押しつぶしている高齢者を見かけます。若者は、「何も言えねえ」となってしまうと思います。どうせ意見を言っても聞いてもらえないから…と…と思っていると思います。どうぞ高齢者の教育を…。今の世の中、若者は、すばらしい意見・知恵があると思います。
60	この校区は、自営業の方々を始めとし、プライドの高い人々が多い為、地域性の受容が狭いように思われます。まちづくりをどんな目的にするか、「生活」「人」「活気ある住みよさ」…何もかもで良いまちづくりは出来ない。まずは、忠見校区に住んでいる人々をやさしく受け入れてほしい。そこから人と人との関わりを持ち、今何をすべきか見えてきたところで話し合い、まちづくりの良い案が出されるのではないかと思います。人が寄り添えば、自ずと悩みや問題点が分かり、それを解決する為に活動する。改善されれば、安心した生活環境に於いて、まちづくりへの参画が自然に出来る流れとなると思います。
60	このアンケートは、質問内容が余りにも茫然としており、答えられない。又 回答2つと言う根拠は何か？以上の点により、勝手ですがアンケートには、一部の残して空白で提出させていただきます。申し訳ありません。
60	高齢化しているため、地域行事は重荷になっています。
70	忠見校区全体よりも、各町内の行事等を充実させてほしい。
70	朝夕の散歩の際、少数ながら挨拶されない方がおられる。同じ地域人として挨拶をかわす呼びかけが望ましい。
70	校区芸能祭も踊りが中心ですが、踊り手が高齢化でスケジュール消化の感があります。たまには、カラオケ大会も、意外と面白いのではないかと思います。

歳代	意見・提案
70	保守的だと思います。時代の流れに合わせた改善が望めます。
70	忠見校区の運動会を復活してください。子供も大人も高齢者も楽しめるイベントが欲しいです。

2 健康づくり・医療体制充実

歳代	意見・提案
60	今の所は不便な事はありませんが、これから先、車の運転が出来なくなってからの事を思うと、いろいろ（病院・買い物）と考える様になると思います。
70	<ul style="list-style-type: none"> ・忠見校区は、農家が多いですが、老人になっても働かねばなりません。 ・健康長寿の取り組みを少しやってもらいたい。 ・子供さんにもやさしく接して行きたいと思っています。

3 河川、防災、消防体制充実

歳代	意見・提案
30	用水路周辺の危険な所がある為対策してほしい。子供が遊べる周辺だけでも対策をお願いします。
40	川の周りに柵を付けて欲しい。子供が落ちるのを防ぐ為。外灯が少ない。
60	少子高齢化によって、消防団員が急激に減少、抜本的な改革を願う。防災が必要！
60	大雨・洪水対策

4 自然環境保全・公害防止

歳代	意見・提案
50	公園がないと思います。電照菊ハウスから出る使用済みビニールを市役所が休みになる土曜日に燃やす人がいる。各方面から指導が必要と思います。
60	川の工事により、ほたるの数が減り、残念に思います。美しくする事も大切ですが、自然をもっと大事にしてほしいと願っています。
60	風向きによりやってくる臭いには困っています。
60	<ul style="list-style-type: none"> ・校区のまちづくりの主旨とは違うことですが書いてみました。 ◎国、自治体も、インフラ整備、老人対策よりも、少子化子育て対策に、政策・予算を使って欲しい。特に インフラ整備は、いいかげんにして欲しい。 ◎悪臭対策（協議会に出席経験有）は、県の認可事業だから市より県に強力に働きかけを！県の担当者の話を聞くに付け、どちらを向いているのかと思ってしまう。 ◎子供（児童）が少なく成るなら、校区のまちづくりも成立しなくなるのでは。
60	ナイロンをもやさないで下さい。においが、すごくくさいです。すてる所があると思います。農家さんは、わかっているはずです。お願いします。校区のお世話の方々、いつもありがとうございます。
60	忠見校区には豊かな自然があります。残念ながら環境美化のためにも、タバコ吸い殻 又早朝・夕方などのペットの糞には困っています。いつも美しい校区であるためにも、ペットのマナーやゴミのポイ捨てを無くし、すばらしい忠見になってもらいたいと思っています。ぜひ、環境美化活動に期待します。
70	忠見地区は、たいへん良い地域環境にあると昔から言われています。この良い環境を汚さないように、お互いに心掛けて行くべきだと思います。

5 防犯・交通安全・消費生活対策	
歳代	意見・提案
30	食料品、日用品が歩いて買いに行けるところがあると助かります。
40	コンビニがあると良い（井延にしかないの）
40	公園等 子供たちが外で遊べる所が少ない。通学路に歩道がなく危険。他の地区に比べ、シルバー人材の方の協力が少ない。（通学路等）子供たちが、安全・安心に暮らせるまちづくりをしてほしい。
60	安全安心、産業の振興、文化の伝承。
60	市道（農道）を駐車場として常時使っている所がある。
60	これから先、高齢者が多くなるため買物やその他の用事をするため、忠見にスーパー、雑貨店などができれば、歩いて行けるし、人とのつながりも（会話）など、便利と思いますけど。

6 子育て支援充実	
歳代	意見・提案
20	子育て支援に力を入れてほしいです。
30	子供を育てている身として、同学年代の子供が少なく、子育てをするには寂しさを感じます。近居や隣居の支援等を行い、世代交代がうまく進んでいく地域づくりを目指して欲しいです。
40	高齢者対策と子育て支援を行政と連携して、まちづくりを行ってほしいです。
40	安心して子育てができる環境と子供が大人になっても住みたいと思う様な、地域にしていく事が大切だと思います。
60	子育て世代が 定住しやすい条件整備（・就労可能な場の確保 ・公園の整備、通学路の整備等 子育て環境整備） 就学児童は、私たちの隣組にはいません。又これから先0の見通しです。 少子化の波はひたひたと本校区でもおよんでいます。そのため、若い世代が定住してみたいと選択されるような条件整備が大切だと思います。 高齢者対策も大切だと思いますが、優先順は前者だと思います。 適正な人口比率、世代比率があつてこそ、地域の活性化や地域振興が可能となると 思います。

7 高齢者福祉充実	
歳代	意見・提案
60	運転が出来なくなった時の不便さを心配する。
70	78歳になり、何かと人口の減少となり、5戸の内老人が多くおり、病院などへの乗合タクシーで出来ること。
70	自動車に乗れる間は、買い物や通院もできますが、乗れなくなった時は困ります。生活用品や食料品など買える店があるといいなあと思います。移動販売でもいいです。
70	老人ホーム・介護施設は、どうして3年したら、次のホームを見つけなくては「いけないのか？早く死ぬをまつしかない今の人生はとしか思えない世の中ですネ。どうにかかりませんか？！！

8 生活排水対策・下水道整備	
歳代	意見・提案
60	団塊の世代が80歳台になる12年後の世帯減少を最小限度にする為には、第1に、下水道の早期敷設が急務。絶対必要条件。第2に、市道の新設、拡幅が必要。山間部からの移転が消極的である。(転入希望者は忠見校区は住みにくいらしい)。第3に、平成24年度市建設課に要望書として提出しているが、町内として道路新設等申請しているので後押しして下さい。

9 農業、産業振興、後継者育成、企業誘致推進	
歳代	意見・提案
50	働く所がないので不便、若い人がいなくなる。
60	今回のアンケートで産業の振興、農業の活性化を取り上げてありますけど、平成になり自分達の子供が成長時期に、八女に産業・耕作放棄地を考えてほしかった。今から、高齢化にに向け、地域の連絡を強く感じております。
60	高齢にともない後継者不足
70	農業の再編成(園芸団地化:協業化)、農地の高度利用(抑制)、環境保全強化、ガソリンスタンドの設置
70	忠見地区のメイン菊、茶などの農業活性化。 オルレコースの利用 茶、菊などの見学コース売り込む

10 道路、交通体制整備	
歳代	意見・提案
30	通学路が狭い。公園など子供の遊び場ない。街灯が少ない。川が多いがガードレールが少ない。
40	道が狭い。ハウスが多すぎて死角が多い!
40	本公民館前の道路を広げて欲しい。(交通量が多いが、道幅が狭い)
40	交通の便がよければ、更によいかと思いますが、校区の問題ではないですね。
40	・街灯がないところも多く夜危険!! ・車は多いのに道幅が、せまく大変危険!!ひやっとする事が多いです。
60	道路の整備。車の離合が困難な場所が多い。
60	道路の拡張・整備をすることにより、利便性を高め、他地域からの転入を促し、空き家対策の解消につながるとともに人口増加により、税収の確保及び地域の活性化につながると思います。
70	忠見みかん山があれいている。広川町道路を作って忠見校区の活性化に。土地は30町といっています。

11 住宅、空き家や耕作放棄地等の整備	
歳代	意見・提案
40	年々子供の人数が減り、見崎中においては、1学年1学級となり、活動する部活も限定されます。住みよい忠見校区をアピールし、空き家、宅地を整備し、子育て世代が忠見ににすみたいと思えるような「まちづくり」をお願いしたい。
50	空き地の除草

歳代	意見・提案
50	・空家の積極的な活用を補助政策を取り入れて、人口増加につなげる。 ・子供世代への優遇策の積極的導入（たとえば、柳川市では、子供世代の家賃優遇や土地取得に対しての補助金対策が充実しているので、そのようなことを参考にして、税金を有意義に使ってほしい）
60	少子高齢化、空き家、耕作放棄地の増加と将来のことが心配されます。
60	若者が減少している。地元で定着出来る仕事場がないことと住民税が高すぎる。文化も大事だが、若者が他地区（市外）へ家を借りる人が多すぎる。考えてほしい。
60	・空き家（古民家）等を利用して人口が減少しなくなる様、企画・発案して欲しい。 ・高齢者がいつも集まれる様な場所を提供して欲しい。

12 文化財保存・活用・文化振興

歳代	意見・提案
60	高齢者と若い人の考え方の違いが交流の場を失いつつある。若い人達に、もっと文化の継承等を理解してほしいです。

13 景観保全・公園、緑地整備

歳代	意見・提案
30	小さい子どもたちが遊べる公園を作って欲しい。
30	子供達が安心安全に遊べる場所（公園、広場）が無いので、遊具等がある広場があれば良い。
30	・子供達が思いきり遊べる公園が欲しい。 ・ディスカウントスーパー等の商業施設があれば…。 ・犬を放してある家がある。いくら小型犬でも困る。
60	子供や高齢者が友に安全に遊べる場所があればよいと思う。

14 その他

歳代	意見・提案
50	クラウンドゴルフは、午前中だけにしてほしい。2回も同じことしなくていいみたいです。大切な日曜日なので、昔とちがって今は忙しいです。
60	校区内だけに使用するチケットを作り、人助け、支援、手伝い時に代価として支払い、自分が、又それを利用できる制度。校区外に出た場合、他人にゆずるか、粗品と替える楽しみもいいかも。
60	私はお宮の件で、12月に座の引き渡しの時、鉢盛の高価でなく、お菓子などで簡単にできたらいいなと思っています。
70	忠見校区では、井延はバスも通っていますし、店もいろいろ有りますので、住む所としては、一番住みよい所と思います。
70	人口減少。これをどう取組むかだと思う。

忠見校区地域振興計画

発行 平成29年3月

企画・編集 忠見校区まちづくり協議会
忠見校区地域振興計画策定委員会

◆この計画書は八女市地域づくり提案事業として、市の補助金を受け作成しました。